



Special Olympics Nippon / Hokkaido

スペシャルオリンピックス日本・北海道

No. 49

北の大地

事務局：〒094-0005 北海道紋別市幸町3丁目2-26「茶番館」内 電話 0158-23-6081 fax 0158-23-6070

広報事務局：〒096-0010 北海道名寄市大通南5丁目7「北方印刷所」内 電話 01654-2-2337 fax 01654-2-2115

<http://son-hokkaido.org/>
e-mail son_hokkaido@son.or.jp

スペシャルオリンピックス日本・北海道 2012年度定期総会開催

2012/2/25於：紋別ハートピア21



会長 渡部 章

昨年、日本は未曾有の大震災を経験し、未だに復興には、ほど遠い状態が続いています。北海道もまた、過去にない大雪による災害に見舞われました。被害を受けた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、冬のプログラムも終わり、春のプログラムを心待ちにしている、アスリート・コーチの皆様も、この残雪の多さに頭を抱えているのではないのでしょうか。福島冬季NGも無事終了し、先の総会にて、NPO法人化を目指しての北海道事務局札幌移転も正式に決定させて頂きました。1998年紋別市において産声を挙げたSO活動ですが、時代の流れとともに、取り巻く環境も大きく変化をとげております。各地区においても、様々な悩みを抱えながらもこの活動の為、日々ご尽力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

私どもSO北海道の願いは道内各地に、この活動の輪が拡がり、どこに行ってもアスリートの笑顔を見ることができ、そんな社会を目指しています。今回の札幌移転も、この目標を達成すべく、その第一ステップに過ぎません。これから、皆さんとともに新たにSO北海道を立ち上げる気持ちで、この1年頑張る所存であります。

今後ともどうぞ、皆様のご協力、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。





冬季ナショナルゲーム福島 報告

感動をありがとう

北海道選手団団長 佐藤 源嗣

4年に一度開催される冬季ナショナルゲーム。

2012 第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島に4名のアスリートとコーチ・ファミリー・ボランティア12名とで参加してきました。

コーチとして参加した、2010年夏季ナショナルゲーム大阪とは違って、団長としての責任の重さがありました。ベテランのコーチに助けられながらたくさんの感動をもらい、そしてアスリートからもたくさんの事を学んで帰ってくる事が出来ました。風邪気味だった私に、寝食を共にしたアスリートが、「佐藤さん大丈夫かい？無理しないでね。今日はお風呂に入らない方がいいよ…」と咳をする度に、体調を気遣ってくれたのです。そのおかげでしょう。寝込むこともなく選手のそばで、活躍を視、精一杯の声援を送ることが出来ました。

開会式は北からの順で、北海道選手団は第一番目の入場でした。アスリートには緊張もありましたが堂々と入場してくれました。

大会2日目の夜は、みんなが楽しみにしている恒例の選手団交流会があり、それぞれが地元のお土産持参で参加しました。大会前北海道選手団として何を持っていこうか悩みましたが、ラベンダーの香袋と北海道のロゴ入りの缶バッチを用意しました。香袋は名寄東小学校の児童や、地域の方たちが育てているラベンダーを学校内に開設されているコミュニティカレッジの関係者と児童によって手作りされたものです。この二つのお土産は、大好評で本当に喜んでいただけました。

感動を言葉で伝えるのは難しいのですが、大会の中において、感動の涙を流したのは私だけではありません。スペシャルオリンピックスの原点は日常のプログラムトレーニングですが、一人でも多くの方が、活動に関わり、感動を共有してくださることを願っています。



右端が佐藤団長



あこがれのフジテレビ本社前



函館地区会

スノーシューコーチクリニック

函館地区会事務局長 細谷 一博

函館でSHのコーチクリニックを初めて開催しました。ゼネラル・アスリート理解では、SOやアスリートの事について再認識することができました。実技では、アスリートやファミリーの参加もあり、悪天候でしたが、スノーシューを履いてグラウンドで楽しく走り回りました。いつかは、函館から冬季大会参加を目指して・・・日々のプログラムを頑張りたいと思います。



札幌地区会

バランスボール

札幌地区会コーチ（Gボールインストラクター）近 育愛

バランスボールと言われる大きなボール。現在、筑波大学で『スポーツGボール』として研究され、心身の調整力（コントロール力）を身につける（回復させる）アイテムとして理学療法の分野からスポーツプログラムとして、1980年代から日本で発展してきました。

昨年スイスで行われた4年に1度の世界大会体操祭では陸上競技場かと思われる大きなフィールドいっぱいを使い、オリンピック開催さながらの大規模なボールを使ったデモンストレーションが行われた様子を伺いますと、世界中で愛され広がってきたことが分かります。

SO札幌地区会で初めて2006年のサンキューパーティで体験会をさせて頂いたのですが、当初は『遊び』という感覚で捉えられていたようでした。ですが、アスリートの皆さんの眠っている『心と身体のパフォーマンスの可能性を引き出すこと』を信じ、ボールのプログラムの本質が伝わるには時間がかかることを覚悟しながら年1～2回のペースから始め去年は年に9回、そして、札幌で開催されている世界体操祭の地方大会である体操フェスティバル参加まで、足取りをつなぐことが出来ました。

札幌では可能な限りこの場をつくり、プログラムを実践しています。楽しいリズムを感じながらスポーツとして運動出来るこのプログラムに是非、1度でも多くご参加頂けるのを願っています。





SO日本全国会長・事務局長会議

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事 榎山 秀明

スペシャルオリンピックス日本、全国会長・事務局長会議が3月31日東京日本橋のパソナビルで開催されました。その席上で地区組織担当理事として、今後の抱負や経緯など10~15分程度の挨拶をすることができ、公益財団法人としての活動方針を新たに確認しました。閉会のご挨拶に細川名誉会長が、SO日本として立ち上げから今日に至るまでの想いを語られ、公益財団法人格取得に感無量の思いでした。私たちも今後の活動が公益財団法人として、しっかりとした運営を行うことで継続した活動につながる事を自覚しなければならぬと感じました。



運営体制の説明

(北海道事務局・各地区会事務局)

【北海道地区事務局】

住所：〒094-0005 北海道紋別市幸町3丁目2-26「茶豆館(さばんかん)」内
TEL：0158-23-6081/FAX0158-23-6070/メール：office@son-hokkaido.com
HP：http://www.son-hokkaido.org/

SON北海道事務局長：榎山 雪枝
TEL：01654-2-2337/FAX：01654-2-2115/メール：son_hokkaido@son.or.jp

SON北海道運営委員長：矢野 雅次郎
TEL：0158-88-2121/FAX：0158-88-2111/メール：yano@son-hokkaido.com

【紋別地区会事務局】事務局長：鈴木 隆美

住所：〒094-0005 紋別市幸町3丁目2-26「茶豆館」内
TEL：0158-23-6081/FAX：0158-23-6070/携帯：090-4870-0864/メール：takami@hokkaido-c.ed.jp

【札幌地区会事務局】事務局長：高田 司志/事務局：渡部 美紀子

住所：〒065-0010 札幌市東区北10条東2-1-20-205
TEL：011-753-2910/FAX：011-752-1230/メール：miki316072@nifty.com

【釧路地区会事務局】地区長：田中 豊一

住所：〒085-0007 釧路市堀川町2-13
TEL/FAX：0154-24-1703 /メール：toyot@kctvnet.ne.jp

【名寄地区会事務局】事務局長：榎山 秀明

住所：〒096-0010 名寄市大通南5丁目7 株式会社北方印刷所内
TEL：01654-2-2337/FAX：01654-2-2115/メール：narayama@hoppoh.jp

【函館地区会事務局】事務局長：細谷 一博

住所：〒040-8567 函館市八幡町1番2号 北海道教育大学教育学部函館校
TEL/FAX：0138-44-4279/メール：hosoya.kazuhiro@h.hokkyodai.ac.jp

編集後記

2012年度スペシャルオリンピックス日本の総会も終わり、また北海道地区の総会も無事終わることができました。SO日本も公益財団法人として新たな体制でのスタートを始め、北海道地区も法人化へ向け歩み始めようとしています。皆様のご協力をお願いいたします。